

<ひとこと>東京スカイツリー完成。高所恐怖症ですが、展望台には登ってみたい。

H23年第4回あいネット運営委員会



2月15日に第4回、あいネット運営委員会が開催されました。第4回は「柏市障害福祉課」。あいネットと、非常に関わりの深い課です。

障害のある方の生活を支援するため、各障害者手帳の交付、障害者自立支援法によるサービスや市単独事業の実施、各種手当や助成金の支給、障害者関係団体への助成等を行っています。

今回は、普段委員として参加して頂いている障害福祉課主幹の渡辺さんからお話いただきました。以下お話を抜粋です。

業務内容1

・障害福祉計画の策定

市が取り組むべき、今後の障害者施策の基本方向を定めた総合的な計画で、同時に市民や関係企業、各種団体などが自主的かつ積極的な活動を行うための指針となるもの。(特に就労支援・相談支援・居住環境整備強化に努める)

業務内容2

・障害者施設の整備

建設業に関する支援、オストメイト(人工肛門・膀胱)対応トイレ整備、青和園・朋生園の指定管理等。
団体補助金の交付

業務内容3

・障害者手帳の交付

身体障害者手帳、療育手帳(千葉県が判定、発行)、精神障害保健福祉手帳(千葉県が判定、発行)など。
・障害者手当等の支給
国の手当(特別障害者手当、障害児福祉手当、特別児童扶養手当)
市の手当(柏市福祉手当、特定疾病療養者見舞金)

業務内容4

・障害者の医療費助成

自立支援医療費、重度心身障害者医療費、(市)精神障害者入院医療費等。
・障害者の相談支援
窓口にて、様々な相談に応じ、障害者

業務内容5

・障害程度区分の認定及び障害福祉サービス等の支給決定

障害者自立支援法の在宅、施設通所、施設入所サービス
補装具(医師の意見書や障害者相談センター)の判定に基づき市町村が支給決定する。
市単独事業の現物給付(書類や面接で、身体状況や所得等の要件を満たしているか確認し決定する)

* * * * *

委員の方からは、「会の定例会に障害福祉課に説明に来てもらった。手帳取得の際は、申請・受け取り、ともに窓口まで取りに行かなくてはならない、せめて受け取りだけでも郵送でお願いできないか」との事。

また、総合防災訓練に聴覚障害者の団体に参加して頂いたり、要望に合わせたテーマで防災関連の講習会を開催しているとの事。

保健福祉総務課からは、K・Netの説明がありました。災害が起きた時だけでなく、普段から地域とのつながりやコミュニケーションを取っておく事が大切であるとの事。登録の希望は増えており、現在は5300人の登録者があるとの事でした。

高齢者支援課も、老人福祉計画においても災害時の対応としてK・Netを位置付けている。協議会を作り、要介護者を災害時に各施設に受け入れてもらう

いか」

「障害者の方の、親なき後が心配される。GH・CH等の入所施設整備の強化を望む。また、地域移行を促進した方がいいと思う」

「福祉に関わる人材の育成・待遇面等の対応に遅れを感じる。今後の福祉業界のためにも迅速な対応を望む」等々、活発な意見交換がなされました。

障害は、一人一人違いその対応も一人一人違います。福祉制度サービスに該当する方、サービスの狭間にいらつしやる方に対して、行政、福祉事業所等、それぞれが連携をとり地域全体で支えていくことが今後も求められていくと思われました。

「柏市障害者合同避難訓練に参加して」

NPO法人ホリデー理事長

田中純子

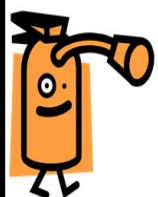
この訓練は、去年の大震災でも問題になった障害者の避難生活の課題を探るために実施されました。私達は、柏特別支援学校体育館の訓練に参加し

ました。参加者は主催者側も含め40名程。親と障害者を持ったお子さん、親の代役と障害者のペアで参加してました。主催者から訓練にあたっての説明があつた後、炊き出し班、組み立て班に分かれて作業を行いました。

話によりまずと、関東地方に大きな地震が近いうちに起こる予測がでいますが、去年の震災を教訓にして、まずは、3日分の食糧を備えること、1日のうちの寝ている時間は生活に占める部分が多いので対策をとらなければなりません。寝室にはなるべくタンスを置かない。また、今回の震災で、釜石の小学校では日頃の訓練のおかげでスムーズに避難し、その子ども達の避難に促されて市民も無事に避難することができたそうです。

障害者の避難については、やはり日頃の訓練を積み重ねることで違ってくる。また、機会があつたら積極的に参加し、いざという時に役に立てたいと思われました。

(※記事を提供して頂き、ありがとうございました)



困った時に声をかけ合い、助け合えるような方がいますか?

今回の震災を通して、地域のあり方も問われたような気がします。

※K・Netとは、災害時要援護者(災害時にひとりでは避難することが困難な方)の安全確保のために、市民の方や市民団体が登録し、日頃から声かけや見守り活動を行い、災害時の安否確認や救出援護の手伝い、避難支援を行うネットワークの総称の事です。

あいネット連絡調整会議

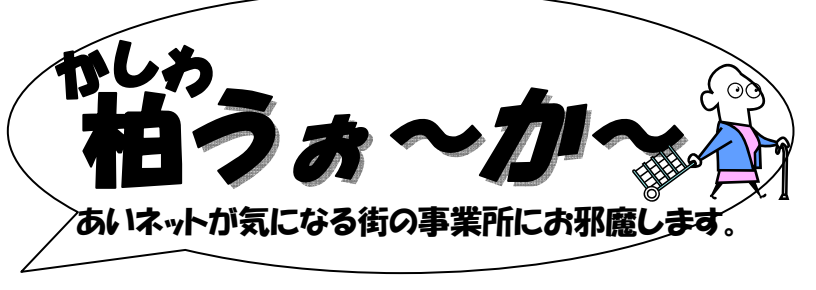
2月9日に柏市地域生活支援センター連絡調整会議が開催されました。この会議は「あいネット」と行政サービスを担う柏市が、相互理解の下に支援サービスを行うことで、質の高い事業展開を目指す目的で、年2回、毎回違うテーマを設けて開催されているものです。

今回のテーマは「災害弱者の支援」。市の各課から取り組みについて説明がありました。

防災安全課からは、避難所で団体生活の出来ない方(例えば自閉症の方)にホテルや旅館等と連携し、緊急時の受け入れをお願いしているとの話がありました。

今回の震災を通して、普段からご近所と挨拶をしたり、立ち話をするような地域とのつながりである「地縁」がとても大切だと感じました。あなたの近所には





かしわ地域若者サポートステーション

柏市勤労会館内に「かしわ地域若者サポートステーション」があります。センター長の森様に話を聞きました。

Q どんな方が対象ですか？
 中学校を卒業後、高校中退あるいは仕事を辞めた後に、一定期間無業の状態にある15歳〜概ね39歳までの就労したい人を対象にしています。

Q どんなプログラムがありますか？
 スタッフの行う定例活動（グループワーク）と、運営団体のCDI講師によるキャリアサポートプログラム（履歴書の書き方・面接法・マナー等）を行っています。

Q 年齢層や男女比は？
 今年度は20代後半の方が多く利用されています。男性が7割ぐらいです。

Q 職場の定着支援はしていますか？
 基本的にはしていませんが、職場に慣れるまで電話等必要に応じて相談に乗っています。

Q 障害のある方は利用できますか？
 障害の有無を問わず、就労を目指している方はご利用になれます。通院中の方にはドクターに確認をしてもらっています。その方の現状に見合った支援ができるよう心がけており、福祉関係の就労支援機関とも連携しよりよい支援を考えていきます。

◆最後に一言お願いします。
 サポステでは仕事の斡旋はできませんが、どんな仕事をしたいかなど方向性を一緒に考えます。自分のできること、得意不得意を知り就労に役立てて下さい。就労意欲のあるかた、お待ちしております。

「かしわ地域若者サポートステーション」は、相談者一人一人のペースをとっても大切にされています。その方の個性や特徴に合わせて、柔軟に対応をされていました。就労がなかなか難しい昨今ですが、共に悩み、共に伴走してくれる場所であると感じました。



* 住所：柏市柏下66-1 柏市勤労会館内
 * 電話：04-7100-1940



おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707 FAX:04-7165-8709)まで◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
講演「高次脳機能障害者の支援プログラム開発に向けて」～高次脳機能障害のニーズに合った地域支援をいかに展開するか～ 講師：ジェニファー・カレン氏 他 質疑応答&ディスカッション 神奈川県リハビリテーション支援センター	3/10(土) 13:00～16:30 (受付開始 12:30)	横浜社会福祉センターホール 横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター内 TEL：045-201-2060 FAX：045-201-6116	資料代 (500円)		主催：オーストラリア クイーンズランド脳損傷協会「シナプス」講演会実行委員会 事務局：NPO 法人脳外損傷友の会 TEL：046-249-2020 FAX：046-247-2433 神奈川県厚木市七沢 516 神奈川県リハビリテーション病院内
H23 年度障害者地域移行促進強化事業「地域での暮らしを支えあう為には」 講師：社会福祉法人巣立ち会 メンバー及びスタッフの方々	3/16(金) 14:00～16:00 (受付開始 13:30)	たんぼぼセンター ※対象者・・・精神保健分野に従事する医療・福祉関係者の方、ボランティアの方ご興味の方	無料	必要	申込み先：たんぼぼセンター TEL：04-7160-1239 FAX：04-7260-1238